

# 愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7  
労働会館東館3F  
TEL 052-871-5433  
FAX 052-871-5618  
URL http://www.airoren.gr.jp  
発行人 樽松 佐一  
第183号 2008年10月10日

第13回あいち機関誌・宣伝学校

とき 11月29日(土)13:30~17:00  
11月30日(日)10:00~17:00  
ところ 労働会館本館2F会議室  
内容 11/29 記念講演  
11/30 実践講座(5コース)

# 人間らしく生き働きたい



東海北陸7県から仲間が集まり元気を分け合いました

## 貧困の実態から目をそらさないで 反・貧困でフェスタとキャララバン

愛労連はこの秋年末闘争で「なくせ貧困、生活危機突破」を掲げています。しかし多くの単組ではワーキングプアの組合員は組織されておらず、「貧困と言ってもピンとこない」「組合員の要求にならない」という声すら聞かれます。派遣法ができたのが85年、職種が緩和されたのは99年です。組合員の多くは就職した時に正規の募集があたりまえ、「派遣」は選択肢すらありませんでした。ところがこの5年間の新卒就職では43・8%が非正規となっています。



「反貧困キャララバン」が9月23日から愛知県入りしました。初日は若宮広場で愛

またこの8年間で労働者の平均賃金は1・2%の下げで、30人未満の事業所はマイナス9%。とくに下請企業では深刻です。まじめに働いても食べていけない、年を取ったり病気で働けなくなったら生きていけない、こんな実態が急速に広がっていることがら目をそむけているわけにはいきません。

知フェスタが開催され、模擬店やフリーマーケット、炊き出し、バンド演奏などが行われました。フェスタは生活保護や多重債務者の支援を行う市民団体などが中心になって実行委員会を結成。弁護士会、司法書士



フェスタ終了後に栄公園までパレード

## 学び、語り合った...働くことと生きることに サマーセミナーに101人が参加

9月13・15日、東浦町にあるあい健康プラザで東海北陸ブロック青年部が主催する第17回サマーセミナーが開催され、7県から101名が参加しました。

今回の企画では、青年の働き方・働くかたを焦点に、初日には働くことを考える学習会を開催。翌日のシンポジウムでは青年パネラーからの発言をうけて、

自分の生活がなくなっていく日常を振り返りました。三重のフリーターの青年は、ハローワークで見つけた職場が求人票と違っていただけでなく、解雇されそうになり、青年ユニオンに加

「納得できない」と思っている組合がない」「知識がない中では『仕方ない』と思わされてしまう」「家庭を持つたらこんな働き方はできない」など、労働組合の大切さが語り合われました。最後に、夫が30歳の時、2人の子を残して過労死し、裁判をしている女性が報告。「自分たちには関係ない」と思っていた過労死が突然に自分のことになった。職場に組合がないために事実さえ語れない状況にある」と訴えました。参加者からは「自分や大事な人の命と健康を守るために組合が必要なんだと改めて感じました」と感想が寄せられました。「人間らしく生きると



2日目のシンポの様子

キンモクセイが香り、澄んだ青空と緋雲、コスモスが暑かった夏から秋への深まりを感じさせる。季節の変化とは別に、今年こそ熱い秋に「の思いを強くしている人も多いだろう。生活保護の受給者が急増していると言うが、ここにも労働法の規制緩和がある。99年の派遣法改正からがひどい、ピンハネがひどく社会保険もない」「派遣を繰り返さすうちに精神障害になる人も多い」「会社が車で市役所に荷物と一緒に労働者を捨てていった。三河地方の自治体で福祉を担当する人たちの発言である。ショックだった。秋の総選挙は必至だ。私の一票は確実に政治を変える一票にしたい、誰もそう感じているだろう。その思いを一人が発信すれば共感の輪は必ず広がるだろう。「最初の一步」を思いを込めて踏み出そう。私も発信者の一翼を担うために頑張りたい。日雇い派遣をやめ派遣労働者保護法に、パート時間給を千円以上に、働き続けられる介護制度に、後期高齢者医療制度の廃止、安全な食料を国産で、今度の選挙結果はこれらの要求が実現するかどうかにかかっている。久しぶりに暮らしの応援となる政治を実現するチャンスがめぐってきた。職場や地域で語り合い、みんなが貴重な一票の権利を行使しよう。明るい展望を開くことを確信して。(哲)



### 2008総選挙特

# なくせ貧困 規制緩和 構造改革

# 大企業・アメリカいなるの 政治変える絶好のチャンス



Topics

9/28

第12回小牧平和集には500人が参加。空中給油機配備など基地機能強化の動きに小牧市長からもメッセージ



10/5

「STOP! 燃料高騰 なくせ貧困 交通労働者決起集会」には約100人が参加。政府に燃料高騰の対策を要求



10/5

まともに生活できる仕事を! と開かれた全国青年大集には4600人が参加。愛知からも130人が駆けつけた



10/7

労働法制連絡会と愛労連は派遣法改正を求める宣伝行動を実施。市民の関心も高く署名に応じる姿が目立った

**みんなのとりくみ お寄せください**  
単産・単組や地域でのとりくみを写真(デジタルでも可)と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。詳しくは...  
052-871-5433(竹内)まで  
E-mail post@aireon.gr.jp

## 改憲許さず、平和を守る選挙

愛労連女性協議会 横山 節子 さん



愛労連女性協は、憲法9条を守ると共に9条を活かし活用するとりくみを中心とした課題と位置づけ運動しています。全労連女性部が提起する1人100筆運動、ピースチャレンジャーにも積極的にとりくんで、第1号の達成者は公務に働く女性でした。私たちの運動で今は改憲勢力が声を潜めています。いつでも憲法9条を改悪することを狙っています。与党をはじめ民主党も派兵恒久法の制定を主張しています。こんな勢力が増えたらたいへんです。9条を守り活用していくには、私たち1人ひとり行動し「戦争はノー」と投票でしめすことです。

## ストップ国民犠牲の「構造改革」

愛知国公務事務局 丹羽 佐俊 さん



小泉流構造改革路線が続く中で、国家公務行政は身も心もズタズタにされました。「小さな政府」をめざすための限界を超えた定員削減が職場を襲い、国民密着型の出先機関がどんどん縮小されています。民営化の最たるものは社会保険庁解体です。歴代内閣の悪しき政治が生み出した年金問題は、今後、誰が責任を持って行うのでしょうか。地方分権・道州制で国家行政が分断され、行政の地方格差が生じます。愛知国公は、国民を犠牲にする「構造改革」に反対し、貧困と格差をなくして安心・安全な日本を実現していくため、総選挙をたたかいます。

## 地域住民の医療 守る政治を

自治労連豊橋市職労院支部 松井 典江 さん



「いつでもどこでも誰でも安心してかかれる病院」そんな自治体病院であるはずが、医師がいない、お産ができないなど市民は困惑しています。医療費を削減するための公立病院改革ガイドラインは、地域の小さな病院は廃止・サテライト化し大病院に集中するという内容です。大病院では、業務量の増加を招き、医師・看護師は疲れ切っています。地域に住む車を持たない高齢者にとって、地域連携の対策が早急に必要です。医師・看護師の増員。後期高齢者医療制度の中止、撤回。自治体病院の果たす役割を実現してくれる政治に期待します。

## 後期高齢者医療 制度の廃止を

年金者組合千種支部 吉田 スバル さん



後期高齢者医療制度廃止法案は、継続審議ですが、麻生新内閣は解散・総選挙の臨時内閣で予断を許しません。高齢者は75歳で繰り上げ、年金から天引き、そして医療費削減で幕引きを宣告されようとしています。これが先進国日本の政治のすることでしょうか。高齢者は、年金で可成り、今日の物価高騰で痛めつけられています。イタリアでは、外国旅行者でも65歳以上は治療費無料。65歳からの最低保障年金は月7万円、70歳になれば、月2万円がプラスされます。日本のGNPIはイタリアより上です。総選挙で、自民党を震撼させるような結果をつくりましょう。

## 職場とくらしに渦巻く要求語り合おう

小泉構造改革路線に 終止符をつこう

大企業は空前の大口で、ハルバ絶頂期の1.7倍の利益をあげているにも関わらず大企業減税で、納めた税金は横ばい。トヨタの営業利益は2兆円に倍増し、官から民へと民営化、民間委託、指定管理者制の導入が推し進められ、非正規雇用への切り替えは、官民間問わず急増し、ロスト30世代の若年層でワークシェアリングが深刻化しています。03年には製造

## 貧困と格差をなくし くらしと平和を守る政治を

突然の安倍内閣退陣から1年もたたないうちに、福田首相がまたも政権投げ出し、自民党は物価高騰や汚染米問題など、深刻な国民生活さつちのけで総選挙を演じ、麻生内閣が崩壊しました。安倍、福田と2代続けての政権交代は、自公政権の行き詰まりを露呈し、国民の信を問うていない内閣が3代も続くことは、あまりにも国民をバカにしています。愛労連は、まもなく行われるであろう解散・総選挙で、小泉内閣から続いてきた「規制緩和・構造改革」路線からくらしを守る政治に転換する絶好のチャンスと位置づけ、政治の革新に全力をあげます。

## 派遣の苦しみは 政治の責任

愛労連ローカルユニオン 神農 幸江 さん



99年の派遣労働法改正で、派遣業務は拡大しました。しかし、あいまいな法令をくぐり抜け、遵守する派遣会社は無いに等しい。グッドウィルの一件は氷山の一角です。派遣労働者の雇用保障はあるか派遣先企業の言いなりで、問題やトラブルが生じた際に原因追及すら行われず、異議申立の機会すらないまま契約を打ち切れ、最終的に泣き寝入りするのはいつも派遣労働者です。厚労省は労働者保護を第一に派遣法改正を行い、違法行為を繰り返す派遣会社に対し厳罰を科し、また派遣先企業の問題と責任を追及し、明確にすることが絶対的に必要です。

## サービス低下招いた郵政民営化

郵産労名古屋南部支部 栗林 純雄 さん



3年前の「郵政解散・総選挙」で、小泉自公政権は郵政民営化を強行。職場はどうなったか? 「定年まで体がもたない」と言って早期退職する労働者が続出。「穴埋め」の非正規労働者は定年まで、年中「アルバイト募集集中」。どの職場も欠員状態。誤配や遅延が後を絶たない。全国的にも簡易郵便局の閉鎖、集配局の統廃合、取り集め回数の減などのサービス低下に苦情は増える一方。これが民営化1年の実態です。民営化見直しは世論です。政治を変え、郵政民営化見直しの総選挙として、働く貧困層解消を政治の責任としてとりくむ政党の躍進に期待します。

## 消費者と生産者のための農政を

生協労連名動生協労組 野々山 大輔 さん



食の安全を揺るがす事態が続き、汚染米の流通が社会問題となっています。この問題の本質は「生産者・消費者に合った農政だったのか」にあります。しかし、汚染米を流通させておきながら、農水大臣がごろごろと失職・退任しています。主食である米は減反を押し進めつつ、1995年から「義務」として輸入を始めました。その結果、米価がさがり続けて農家に不安を与えています。私たちは生産者と消費者とを結び仕事をしていす。消費者のみならず安心して暮らすために、このような農政に誰がしたのか見極めて投票にいくことを呼びかけます。

## もう限界、規制緩和と燃料高騰

建交労関西西合同支部尾張分会 野々垣 則子 さん



運輸業界は、規制緩和によって過当競争が激しく運賃が下落しています。そのうえ、燃料高騰で経営も労働者の賃金・労働条件も悪化しています。燃料高騰は、ファンドマネーによる投機が原因。世界中の弱者が困ろうと、何でも「金儲け」にする行き過ぎた資本主義経済はもう限界。自公政権や民主党が進めてきた少数が勝つための経済社会ではなく、皆が平等に暮らせる社会を築くことが必要です。トラック産業に働く労働者の生活を改善し、トラック産業を守るためにも、今後の総選挙では労働者・国民生活を第一に、暮らしと平和を守る政治勢力の躍進が必要です。

業への派遣が解禁され、人間「カンバン」方式で、若者を使い捨てにできなくなりました。自己責任を前面に掲げる自公政権は医療・年金など社会保障の改悪をおこないました。高すぎず取れない保険料で保険証が取り上げられ、国民皆保険が崩壊しています。医師・看護師不足が深刻化し、全国各地で公的病院が縮小・廃止を余儀なくされています。金融の規制緩和により投機マネーが食料や原油を高騰させ、ばらまかれたサブプライムローンの証券化は世界的な金融危機を引き起こしています。グローバル化のツケは、食料にも深刻な問題を引き起こし、事故米問題では米の流通規制

和で多数のプロカーが介在していました。小泉政権の規制緩和と構造改革路線の破綻は誰の目にも明らかです。今度の総選挙はこの「規制緩和・構造改革」路線にストップをかけるたかいです。守る9条憲法9条 やめよう海外派兵 小泉・安倍首相は憲法9条改悪を政権の第一目標に掲げ、イラクやアフガンの自衛隊派兵を推し進めてきました。改悪のための国民投票法を成立させ、改憲にむけた具体的手続きもはじめて法制化されました。しかし昨年の参院選で安倍首相は9条改悪を公約のトップに掲げて惨敗しました。

青年協ニュース AIAI 身も心もリフレッシュ 愛労連青年協ソフトボール大会に100名参加

9月27日(土)毎 年恒例のソフトボール大会が豊明の勅使グラウンドで行われました。

4単産7チームは2リーグに分かれて予選をおこない、勝ち上がったチームで決勝戦。3位決定戦も争奪戦。Aリーグからは揃いのユニフォームに身を包む医療生協・南医療生協チームが3位決定戦へ、Bリーグの2位である全印が優勝し、閉会式で表彰状とトロフィーを受け取りました。

今年から初めての試みとして、地元・豊明のソフトボール連盟に審判員をお願いし、正確なジャッジが求められる場面で盛りだくさん運営できるようにしました。参加者からは「久しぶりに体を動かして、楽しい1日だった」との声がありました。

天気が良く、身も心もリフレッシュできた1日でした。(実行委員会発)

みなではいポーズ

青年協第19回定期総会のご案内  
日時: 12月6日(土) 13:30~  
場所: 労働会館本館会議室  
記念講演: 河添誠さん (首都圏青年ユニオン書記長)  
11月には総会に向けた代表委員会を行います。参加をお願いします。

たたかう仲間たち NO.46

9月30日、JR採用差別問題の解決、要求実現をめざす集会が、名古屋市教育館で開かれました。鉄道フォーラム愛知に結集する4団体が開催し、会場には100人が参加しました。

### 「今こそ政治決断を」と鉄道フォーラムが愛知県集會

愛知争議団連絡会議 事務局 勅使河原 勇

この集會は、東京高裁の南敬文裁判長からの「ソフトランディングできないか」という提案や、冬柴前国土交通大臣の「お受けし、その努力はすべき」と、鉄道運輸機構が構が交渉に応じるよう促すとともに、「誠心誠意努力する」と政治的に踏み込んだ発言をしたこと、

運動の量と世論が解決の力

別問題の解決、要求実現をめざす集會が、名古屋市教育館で開かれました。鉄道フォーラム愛知に結集する4団体が開催し、会場には100人が参加しました。

運動の量と世論が解決の力

この集會は、東京高裁の南敬文裁判長からの「ソフトランディングできないか」という提案や、冬柴前国土交通大臣の「お受けし、その努力はすべき」と、鉄道運輸機構が構が交渉に応じるよう促すとともに、「誠心誠意努力する」と政治的に踏み込んだ発言をしたこと、

運動の量と世論が解決の力

別問題の解決、要求実現をめざす集會が、名古屋市教育館で開かれました。鉄道フォーラム愛知に結集する4団体が開催し、会場には100人が参加しました。

運動の量と世論が解決の力

おかしなぞ、民主党の財源論

アメリカ、大企業・金持ち優遇

民主党は、政権を獲得した際に、子ども手当の創設や高速道路の無料化、ガソリン税などの暫定税率廃止などを打ち出しています。その財源はどのように確保するのでしょうか。

民主党は政権を獲得した際に実施する政策の財源について、9月30日に具体案を提示しましたが、その内容は庶民の生活を直撃するものばかりです。

民主党がまとめた財源案は、今年度から平成24年度までに20兆5000億円を確保するとしています。このうち1兆2000億円を削減して開かれました。

鉄道フォーラム愛知の村上俊雄代表は、1047名の国鉄闘争22年間のたたかいは振り返り、えんました。

中央大集會成功と総選挙勝利で

全労争議団の藤澤志さんは、10月24日中央大集會に向けて、バスを借りて参加する準備が始まりました。また、10月24日中央大集會に向けて、バスを借りて参加する準備が始まりました。

耳障りの良い政策が並んでいても、大企業・金持ち優遇税制やアメリカいなるの軍事費に手をつけず、庶民増税でまかなうのは自民党と変わりありません。

国家公務員の人員費を2割カットして1兆1000億円、財政投融資や外国為替といたった特別会計の積立金を活用することで7兆2000億円、所得税の控除を廃止するなどして4兆2000億円など、全体で20兆5000億円を確保するとしています。

曲がった政治を直そう、やめよう海外派兵、ウレセイ、曲がった政治を直そう、やめよう海外派兵、ウレセイ

特技、口げんか 高木 徹

# 名古屋市民の願いが大合流 革新市政の会が要求交流集会

9月23日、名古屋市中区役所ホールで「語りた願いがある 伝えたい思いがある」をテーマに「要求満載 実りの名古屋」要求交流集会を名古屋革新市政の会が開催しました。団体・



保育ネットの元気なパフォーマンス

地域から400人もの仲間が参加し、会場は熱気にあふれました。基本政策・第1次案の4つの柱である 福祉・医療の充実、貧困からの脱出、地球温暖化防止とCOP10、安心して生み育てられる名古屋のテーマごとに団体・地域から次々に発言がありました。

年金者組合は、「ひとりぼっちの形」と題して介護や後期高齢者医療制度廃止のパフォーマンス。名古屋の国保を良くする会は、全国の政令市で最悪の値上げになった国保料を値下げさせる運動を紹介。保育を

よくするネットワークなごやからは若手保育者が「保育園民営化反対」の替え歌とダンスを元気に披露し、参加者は拍手喝采。名高教は、今の高校の教育予算の少なさをリアルに、ビジュアルに訴えました。

また、守山市民病を守る会をはじめ、天白や中南・瑞穂の各地域からも要求をつぎつぎと発言。市政の今とみんなの願いがくつきり浮かび上がり、要求実現のためには革新市政の実現しかないといふみんなのおもいを共有できる集会となりました。

## 新役員紹介

中村労連

議長 北野雄志 / 副議長 後藤毅 / 事務局次長 松本竹敏 / 事務局次長 井上勲

建交労

執行委員長 谷藤賢治 / 副執行委員長 石村ひろ江 / 生方正美 / 同 奥村淳子 / 同 田村一志 / 同 上江洲哲 / 同 山村豊 / 書記 長 安井友紳 / 書記次長 稲葉尚久

西三南労連

議長 桜井善行 / 副議長 角谷唯高 / 同 杉浦三治 / 同 宮田稔 / 同 畦地治 / 同 金田堅三 / 事務局次長 杉浦和成

知多労連

議長 佐野宏二 / 副議長 鬼頭研次 / 事務局次長 熊谷

弘 / 事務局次長 安井好江

検数労連

執行委員長 吉井桂司 / 副執行委員長 田原庄一郎 / 同 高木正一 / 書記長 光部泰宏

名南労連

議長(欠員) / 副議長 瀬戸俊秀 / 同 鈴木弘之 / 事務局次長 田島保利 / 事務局次長 煤本国治 / 同 坂本隆志

名北労連

議長(欠員) / 副議長 筒井顕治 / 同 入野智 / 事務局次長 大矢俊夫 / 事務局次長 池田慧子 / 同 佐々木秀之

豊田・加茂

議長 福慶秀仁 / 副議長 中島文弘 / 事務局次長 中根幹男 / 事務局次長 杉浦光泰

岡崎・額田労連

議長 粟生政男 / 副議長 藪田芳秀 / 同 近藤宏一 / 事務局次長 藤村光治

銀産労

執行委員長 古田健 / 副執行委員長 浦野弘 / 事務局次長 和田千恵子

千種・名東

議長 竹内邦彦 / 副議長

# おやまほす

NO.54 自治労連

非正規労働者の生の声に大きな刺激

10・5青年大集会は、若者の貧困と使い捨てを許さない」と訴え、昨年を大幅に上回る4600人の青年が東京・明治公園



古橋 真さん  
自治労連愛知県本部  
名古屋市職員労働組合

## 組合の活動や意義を伝える勉強会を

に つ づ け ま し た 。 「自治体と民間など職種の違いはあっても、思いや立場が近いたくさんの方の生の声を聞くのは初めてで刺激になりました」と言います。

など身近な部分しか見られないけれど、非正規や民間の方の生の声を聞くのは初めてで刺激になりました」と言います。

やんからお年寄りまで住民全体が対象であり、いろんなところで活躍できる仕事」と自治体職員を選びました。

両親から「組合に入っ て働きやすい職場を目指 す」といいよ」と言われ、迷わず加入。執行委員として青年部とのパイプ役をつとめています。

「職場を異動したら、組合をやめてしまった先輩もいます。活動や意義を知ってもらうための勉強会ができたらいな」と古橋さん。

「交流をきっかけに学ぶ機会をつくって...意義を知ってもらえれば、やめようとは思わなくなり ますよ」と笑顔で語り ます。(R)

## 今後の主な日程

- 愛知9条の会アピール行動 11月3日(祝) 14:00~ 若宮広場 栄までパレードし宣伝
- 名古屋革新市政の会総会 11月4日(火) 18:30~ 労働会館東館ホール
- 第40回働く女性の愛知県集会 11月16日(日) 13:00~ 名古屋市女性会館ホール
- 秋の地域総行動 11月19日(水)
- 各地域で早朝宣伝行動など パート・臨時の元気が出る集会 11月24日(月・休) 10:00~ 労働会館本館2F会議室

## みんなの声

郵政民営化になりサービス低下、労働強化で現場労働者は大変です。(郵産労・松井静保)

新潟で開催された日本高齢者大会に参加してきました。企画も内容もすばらしかったです。高齢期の運動を高年齢者がリードしている事を実感しました。なんとしても、後期高齢者医療制度の中止・撤回まで運動をもりあげていきたいと思ひます。(年金者組合・谷芽枝)

総選挙は絶対勝ちぬくぞ！(名水労・盛田幹夫) いつもの衣替えはまだ暑いのに今年9月末から寒い日が続きます。おかしな天気です。(西尾市職労・長谷芽枝)

波田満 / 同 丹羽唯明 / 事務局次長 玉置重光 / 事務局次長 中川礼治 / 同 山口茂樹

## 草紅葉求めてニセコ神仙沼に

No.49 北海道ニセコ・神仙沼



2008年10月2日にニセコ・神仙沼にて撮影 文・写真 市場文規(あるきですとの会代表)

北海道ニセコ、数ある湖沼群にあつても最も神秘的で美しいと讃えられる神仙沼。10月2日、草紅葉の湿原を求めこの地を訪れた。

ダテカンバの古木にからみついた真つ赤なツタウルシを愛でながら、良く整備された木道を歩くこと20分。突然、目の前いっぱいには広がるオレンジ色の草紅葉。点在する大小の池塘が青空を映し、周囲を色づきはじめた広葉樹や常盤色のエゾマツが取り囲む。その向こうにはニセコ連山... 伝える言葉もない。更に歩をすすめれば、神秘的沼、神仙沼が姿を現した。名の通り、神々や仙人もその美しさに酔いしれたことだろう。

【お詫言】前々号及び前号の連載番号が45と46となっていました。47・48の間でした。

## 労働相談の窓

### 迅速な資料収集と粘り強い交渉で債権確保

日本フローテ(株)の労働者の債権確保のとりくみは、今後の教訓となる活動でした。 本社は豊橋市、愛知、東京、神奈川に10店舗、従業員約40名。名古屋の仲間からローカルユニオンに加入し、東京、神奈川の仲間と電話、FAXで呼びかけ。労働債権確保のため、5月21日から31日迄の賃金額、予告手当30日分(前3カ月の給与明細書・平均賃

金額)を計算し、FAXで送信。退職金は規定がありませんでしたが、今まで「一定の金額を慣行で払ってる」事を確認。年次有給休暇の残日数の把握等を集計する方針を全従業員に伝え、内33名の労働者のデータを各項目毎に集計し、「一覧表」にまとめました。5月31日に会社へ労組結成を通知し、交渉を申し入れました。社長は逃げていまし

たが破産申立代理人と交渉。一方で豊橋労基署に申告し、破産申立前に未払賃金、退職金、予告手当は正支払を実現。退職金は立替払いが認定されました。 組合の迅速な資料集約と粘り強い代理人との交渉、切実な労働者の訴えに、奮闘いただいた労基署に組合員は感謝しています。(黒)

## BOOKレビュー



官製ワーキンググループを生んだ公共サービス「改革」 城塚健之 [著] 自治体研究社 定価1,900円+税

公務・公共サービス 実態と問題点を浮き彫りにし、市民にどんな影響をあたえているか、労働者をいかに低賃金・劣悪な労働条件で働かせているかを明らかにしている。「公務・公共サービスとは何か」を考へるうえで、必読の書である。